

沖田総司（峰章山）

劍在天性又正義 姓是沖田名総司
風体瘦身其貌静 立揮耀劍払凶枝

解説 新選組一番隊組長の沖田総司を詠った詩。

劍に 天性 在り 又 正義 あり

語釈 ※沖田総司||幕末の武士、新選組一番隊組長。

姓は 是 沖田 名は 総司

※天性||天から授かった性質。生まれつき。※風体||身なり。姿。※瘦身||瘦せた身体、または引き締まった身体。
※耀刃||光り輝く劍。※揮||手を振り回す。手に持って振り動かす。※凶枝||おみくじを木の枝に結ぶこと。(悪い運氣を神社、又は寺の境内に留める)

風体は 瘦身にして 其の 貌 静かなれど

通釈 天性の劍捌きを持ち、また正義感に溢れている沖田

立ちて 耀刃を 揮いて 凶枝を 払う

総司。身なりは瘦せ形で其の姿は静かなれど、一度立ち上がる
ると耀刃を揮い、悪運氣を取り除く。